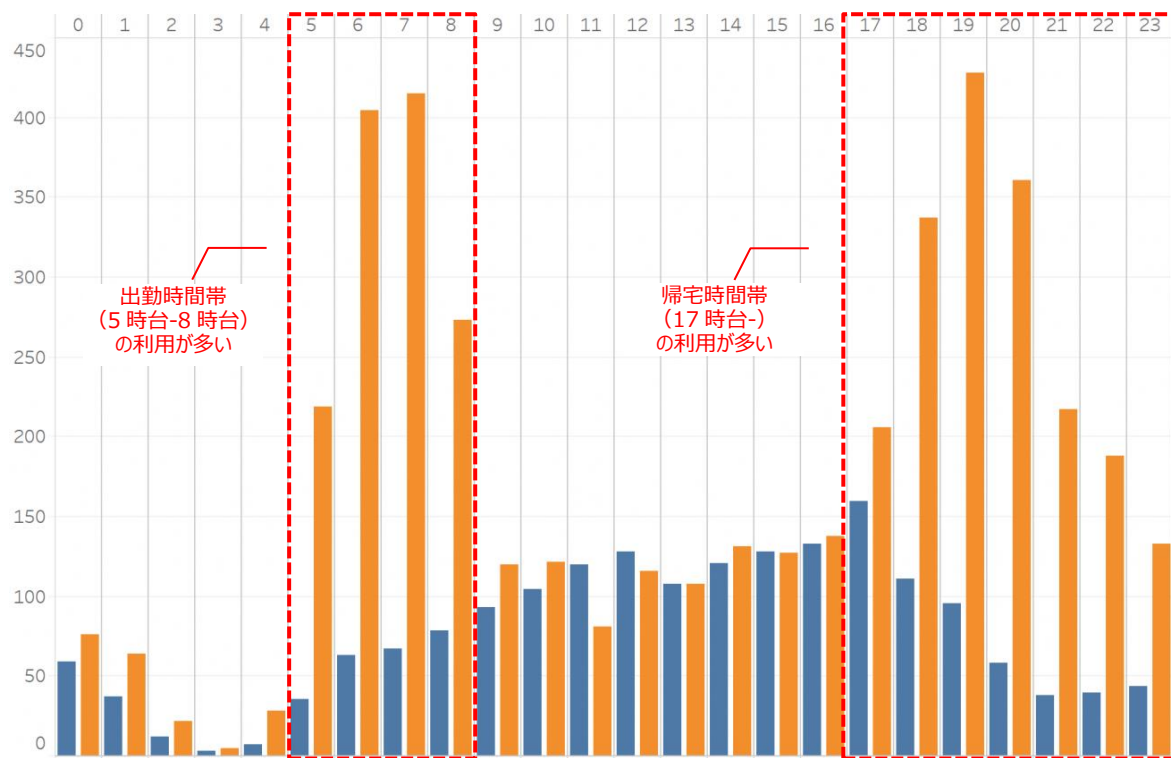


ヤフーデータソリューションサービスとの連携による 「千葉市シェアサイクル実証実験」の分析について

1 通勤・通学

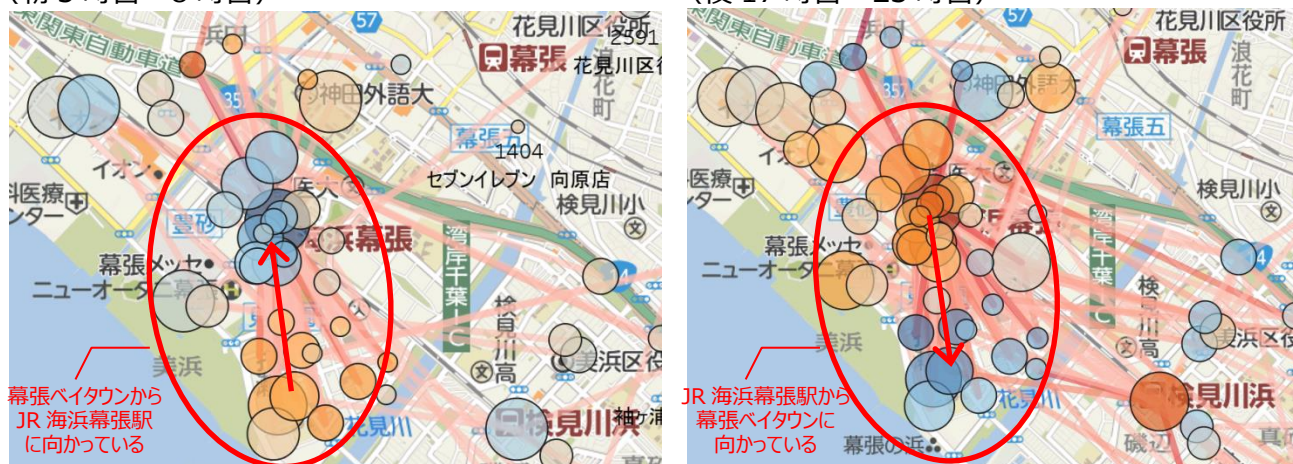
幕張新都心エリア内の利用状況とヤフーの保有データを掛け合わせて分析した結果、美浜区の住民は平日朝晩の利用が突出して多く、中でも幕張ベイタウンと JR 海浜幕張駅の行き来が多いことから、幕張ベイタウン住民は、通勤の利用が顕著であるといえる。

図1 利用時間帯別利用者数（美浜区在住、30代～50代男性、ヤフー分析結果より引用）



※青色は休日、オレンジ色は平日の利用を表す。(集計対象：2018/3～2019/6の全データ)

図2 トリップ表示 (図1の条件のもと幕張ベイタウンと海浜幕張駅に焦点をあてたもの、ヤフー分析結果より引用)
(朝5時台～8時台) (夜17時台～23時台)



※オレンジ色が濃いほど貸出の多いステーションであることを、青色が濃いほど返却の多いステーションであることを表す。

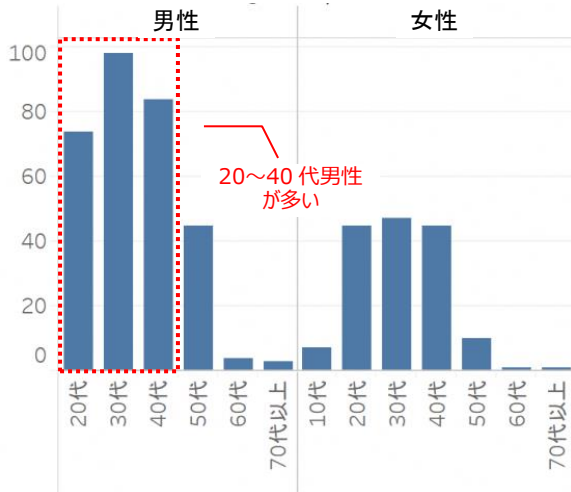
なお、丸の大きさはステーションのラック数と比例している (以降、同様)。

(集計対象：2019/5の全データ)

2 ビジネスユース

長時間利用者（1回の利用時間4時間以上）の利用状況とヤフーの保有データを掛け合わせて分析した結果、長時間利用者は、平日の日中、20代～40代に多く、また利用時間中に様々な場所を巡っていることから、ビジネスユースとしても利用されていることが推測される。

図3 利用時間4h以上の利用者の性年代別分布（ヤフー分析結果より引用）



(集計期間：2019/5)

図4 利用時間4h以上の利用者の移動状況（千葉駅周辺）
(例：5/27(月)～31(金)の5日間、OpenStreet分析結果より引用)



3 日常利用

交通結節点である駅周辺以外のステーション間の移動が大幅に増加しており、買い物など日常の移動手段としても利用されていることがわかる。

(千葉都心エリア、幕張新都心エリアともに2018年9月14日(左)と2019年5月11日(右)で比較。)

図5 千葉都心エリアにおけるトリップ表示（総トリップの中から、駅付近の利用を除いたもの、ヤフー分析結果より引用）



図6 幕張新都心エリアにおけるトリップ表示（総トリップの中から、駅付近の利用を除いたもの、ヤフー分析結果より引用）



4 観光・レジャー

ZOZO マリンスタジアムの試合開催日において、試合前と試合後の利用状況とヤフーの保有データを掛け合わせて分析した結果、どちらにおいても、駅との単純往復ではない動き（ZOZO マリンスタジアム⇔イオンモール幕張新都心間の行き来など）が発生しており、まちの回遊性向上に寄与している。

図7 トリップ表示（14:00 からデーゲームが開催された 4/20(土)・21(日)の 2 日間、ヤフー分析結果より引用）
 (朝 6 時台～13 時台) (夜 17 時台～19 時台)



また、イオンモール幕張新都心や稲毛海浜公園、ケーズハーバーなど、休日に多くの集客がある施設のステーションについては、一般的なステーションと比較すると「休日利用」の傾向が大きく出ており、観光・レジャー目的での利用が多いと推測される。

図8 休日利用の傾向が強いステーション（代表的なものを抽出、ヤフー分析結果より引用）

ステーション名	平日 休日 型判定用
千葉臨海線第1緑地 ZOZO マリンスタジアム前	-92.0
イオンモール幕張新都心 グランドモール南	-60.7
イオンモール幕張新都心 ファミリーモール東	-59.3
イオンモール幕張新都心 グランドモール東	-56.7
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張	-54.4
イオンモール幕張新都心 グランドモール西	-53.6
稲毛海浜公園ヨットハーバー入口	-41.3
イオンモール幕張新都心 アクティブモール北	-35.4
幕張メッセ 国際展示場9-11南	-29.0
ケーズハーバー	-28.5
稲毛海浜公園②多目的広場脇駐輪場	-26.6

※表内の数値は、平日における1回の利用を「+0.2」、休日における1回の利用を「-0.5」と設定した際の、各ステーションにおける指標値。数値が低いほど、休日利用の傾向が大きいといえる。
 平日と休日の利用回数が同数の場合±0で表示される。
 (集計期間：2019/5。但し祝日は計算から除外)